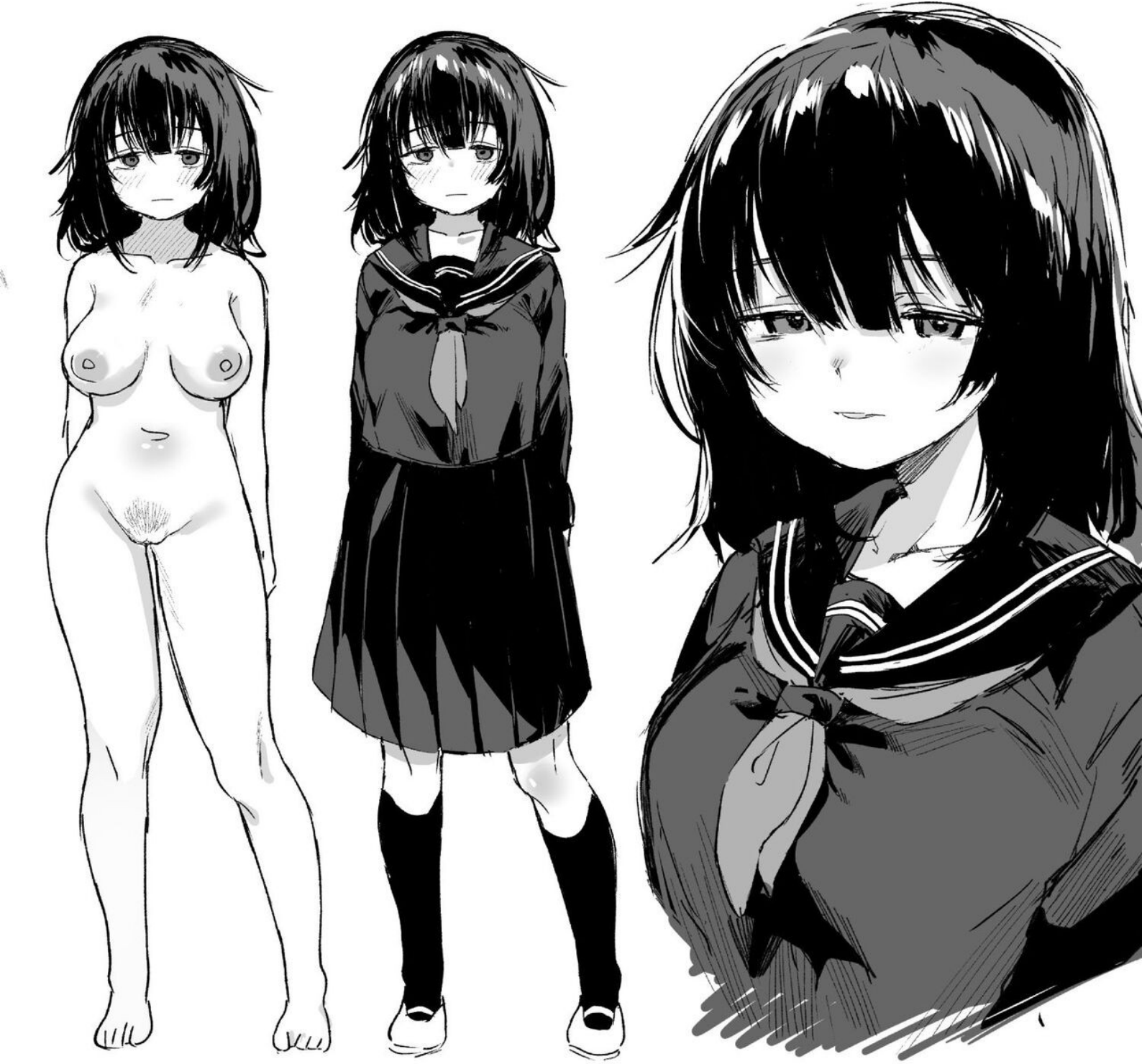
あの子は僕が好きじゃない
僕だけが気付いてたはずのロリ巨乳地味系文学少女
原作・なだソルト
作画・トリウチ



しもじょう しおり

下條 栞　142cm Hcup

県内中堅クラスの公立校に通う一年生。運動は苦手、成績は国語以外普通、いつも一人で本を読んでいる。幼い顔立ちと低い背丈とは裏腹に、肉感的な身体つきをしている。

容姿にコンプレックスがあり、自身を「スタイルが悪いさえない女」と自己評価している。控えめな態度はその反映。谷崎潤一郎の小説に出てくるような男を翻弄し支配する女にあこがれがあるが、自分は決してそのようには生きられないと諦めにも似た感情を抱えている。

自分をただの女として性的に求めてくれる男が好き。

性格がいいとか中身が大事とか言ってくる偽善者が嫌い。

あっ♡
パン
パン
はあ
このチビッ
パン
パン
動きにくいだろが
あッ
すみませ……ッ
ドチュ
ズッ♡
ズッ♡
ドチュ
もっとケツ上げろ!!
あ…ッ
ばちゅ
ズン
パン
パン
ビクッ
ビクッ
ガタッ
ガタッ

オラ
出すぞ!!
思いっきり
締めろっ
ぬぽっ
はぁ…
はぁっ
どろぉ…
たぷん♥
ぎゅん♥
どろっ
どろっ
ドピュ
ドピュ
ビュルルルル

ホラ、セックス終わったら何て言うんだ？
はぁ♡
はぁ…
はぁ♡
はぁっ
ガクッ
ガクッ
ビクッ
ビクッ
ビクン
ビクン
つ、つかっていただいてありがとうございます……
とろ～ぉ
先帰るからちゃんと片づけしとけよ
はー
はー
はー
はー
はい……
ベちゃ
ドロォ…

放課後
二階のはずれの
空き教室
カラ…
カラ
下條さんは
いつも
そこにいる

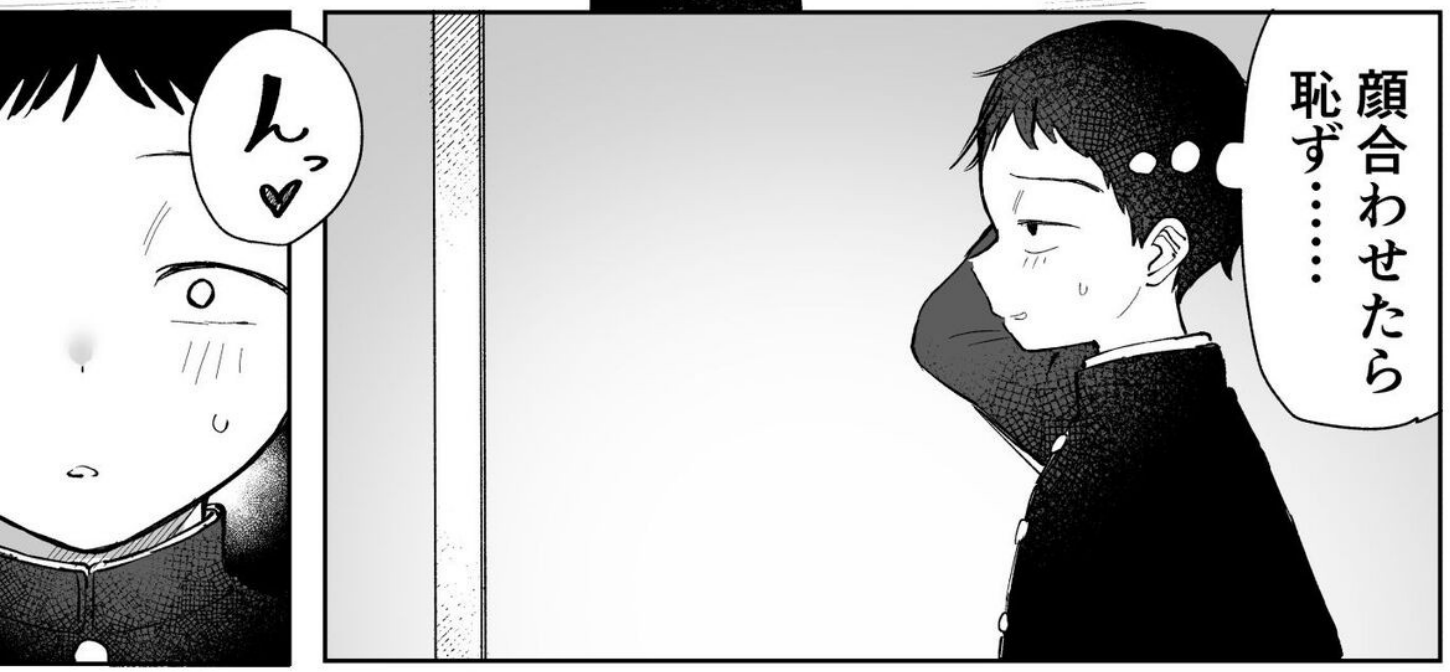
あ、読んだよ
借りてた本
……どう
だった？
ん～……
なんていうか
結構以外
だったかも
……
どのへんが？
その、わりと
エロい描写も
多くてさ
下條さんて
こういうのも
読むんだって
……そう

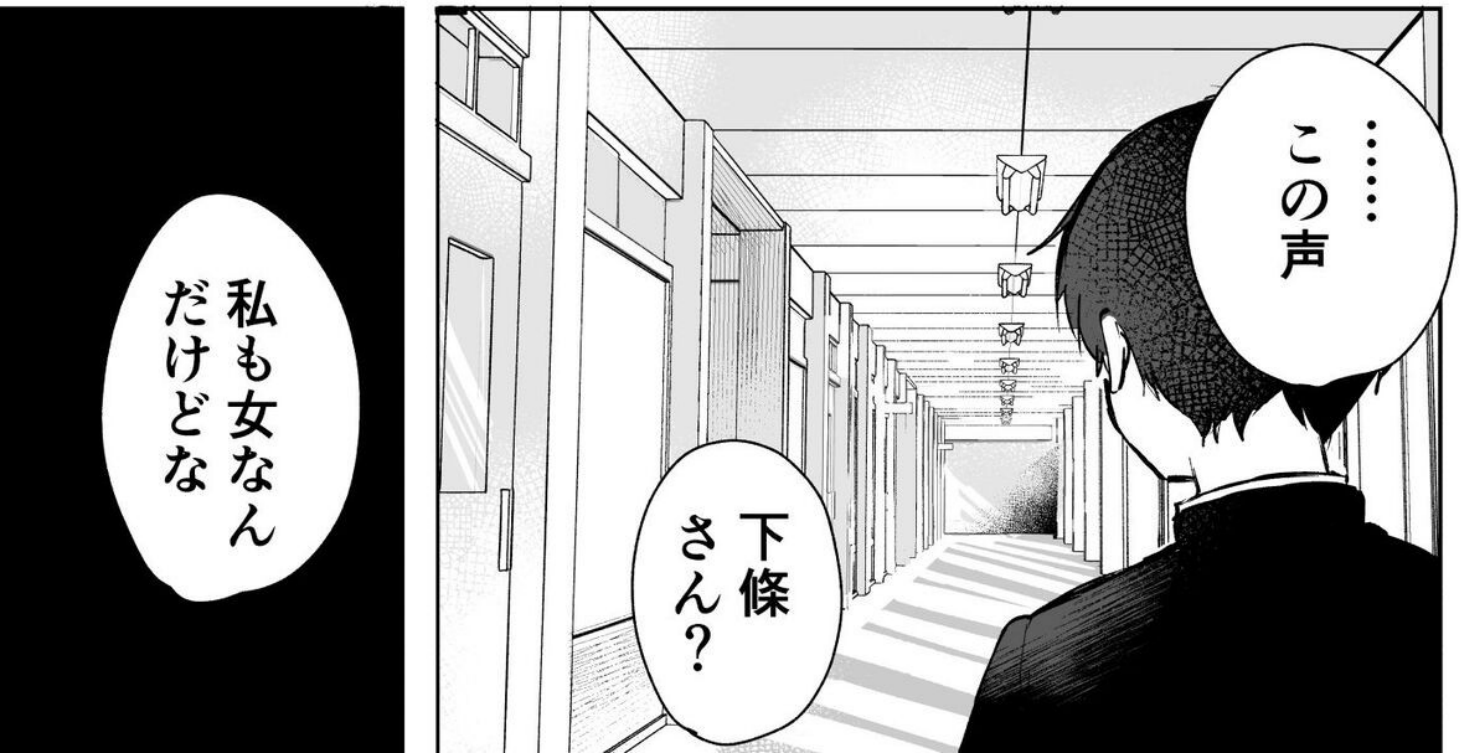
私も、
女なん
だけどな
僕は彼女が
気になってる

小柄で
大人しくて
決して目立つ
方じゃない
だけどたまに
ドキッとする
ことを言う
最近学校に
来るのが
楽しみだ
彼女がいつも
ここで待ってて
くれるから
この時間が
ずっと続けば
いいとさえ思う
……っと、
塾行かなきゃ
また明日、
下條さん
カラ
カラ
ピシャ

カラ
カラ…
ワー
ワー
パラ…
んっ♡
ぐちゅ♡♡

カバン忘れるとか
浮かれすぎだろ……
下條さんもう
いないよな？
カァー
カァー
コツ
コツ
コツ


顔合わせたら
恥ず……
んっ♡


……
この声
下條
さん？
私も女なん
だけどな

……見つかっちゃったね

幻滅した？

……でも見られたのが君でよかったかもねぇ……

君となら
……いいよ
ドキドキ
……まさか、ね……
あっ♡
そ、そんなっ
あっ
あっ♡

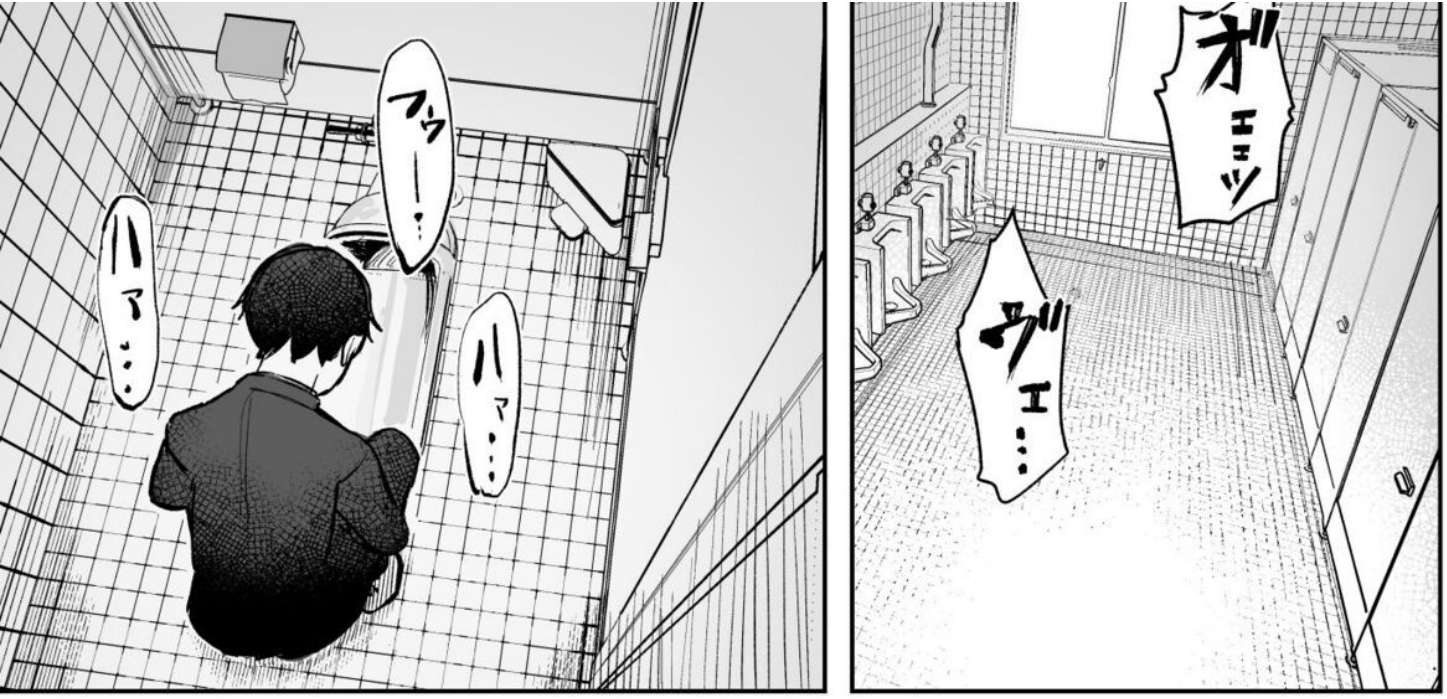
ハハッ
おもしれー
またイった
のかよ
あ゛ァ…!!
ビクッ
ビクッ
ぐりゅ
ぐりゅ
コリ
コリ
ぐりゅ
ぐりゅ
やっぱ
ナマだと
反応いいわ
舌出せ
ピル
飲ませて
やるよ
ケラ
ケラ
ふる
はーっ♡
はーっ♡
ふる
ぐいっ

くちゅ♥
っ…♥
レロォ
くちゅ♥
んっ♥
フゥ…
フゥ…
コウ
っっ…
ゴッ
今日は中で出すからな
はい…
ありがとうございます
ハン♥
ハン♥
ドチュ
……おいおい締まりが良くなったぞ？マジで淫乱だなお前
キュンキュン♥
キュンキュンキュンキュン♥

ははっ
脚つかねーのかよ
ガキとヤってるみて～ｗ
はぁ♡
は～っ♡
は～っ♡
ぬ
ぉ
ぉ
ぉ♡
あっ
ぉ
ぉ
ぉ
ぉ♡
ぉんっ♡

ちょっと
まって
やめる
わけ
ねえだろ
殺すぞ
ああ!?
イき
死ねっ
出すぞッ

ヒクッ
ガク
ビクン
ビクン
ビクン


オエッ
グェ…
フゥー…
ハァ…
ハァ…

ぬぢゅ
ぬぢゅ
ぬぢゅ
ぱちゅっ
きっと……
無理矢理
相手させられ
てるんだ
脅されてる
とかで断れ
なくて……
クソっ
許せない
僕が……

僕が助けてあげなきゃ――
……見たんだ昨日、ここで
……そう
……評判悪いよあのひと
ねぇ、無理矢理やらされてるんでしょ？
だったら僕が力に……ッ
グッ…
いらない

……私がしたくてやってるの
じゃなきゃ毎日遅くまで先輩の帰りを待ったりしない
ガ・ママア
し……知ってるだろ!?先輩に他にも女がいるの
そんなの……都合よく使われてるだけじゃないか
僕は……僕はちゃんと中身を見てる！
僕ならもっと下條さんのこと大切に……
パータン

……私は
中身より身体を
求められたい
性格ばっかり
褒められたって
うれしくない
地味でブスで
スタイルも
悪いって
女として
魅力がないって
言われてるみたいで
……私、
いつもそう
言われてた
君も内心
そう思ってた
でしょ？
ち、違…
……別に
性格だって
こんなだし

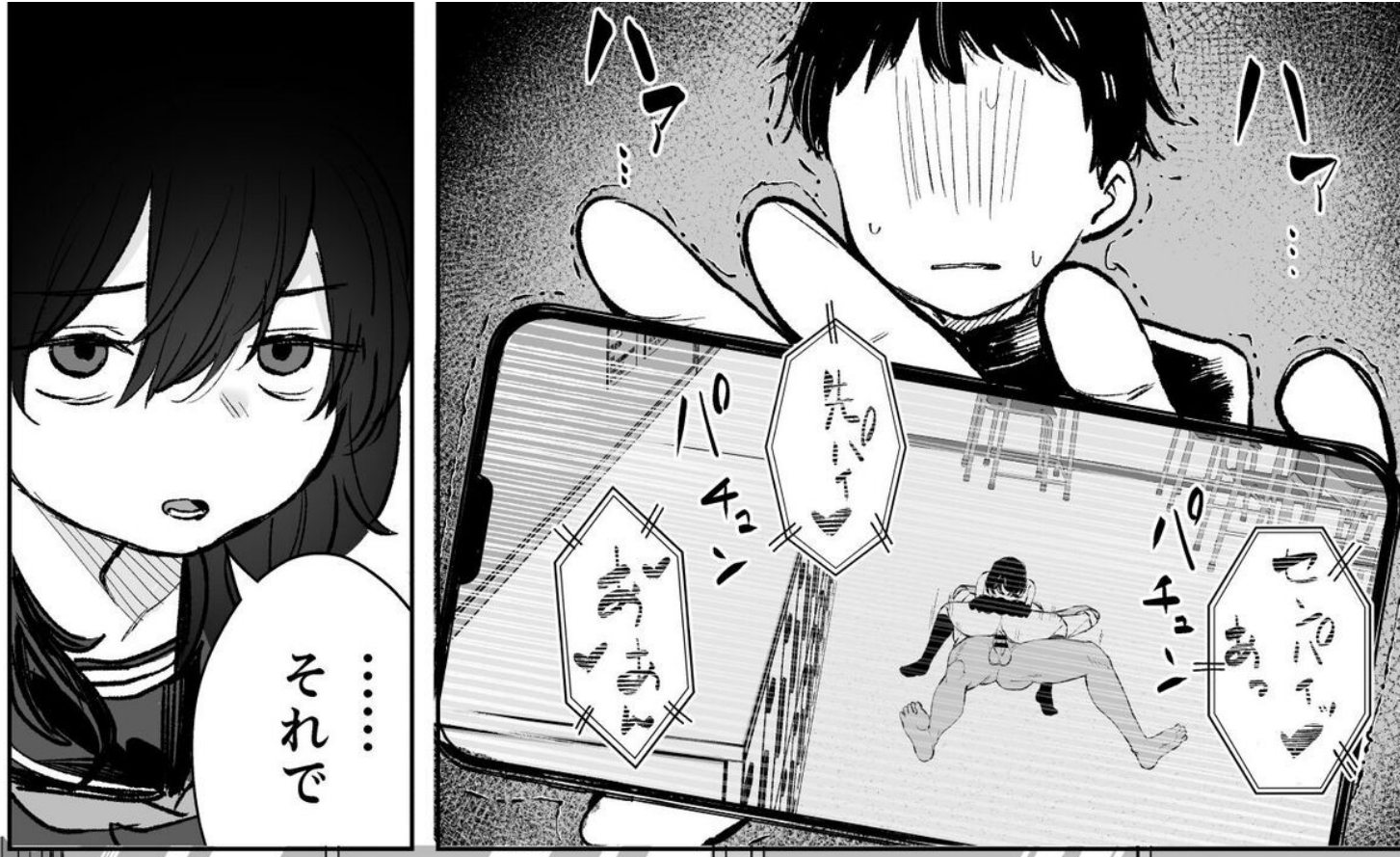
…もう
関わら
ないで
じゅぽっ
ぴゃ
ぐちゅぽっ
ちゅぷ

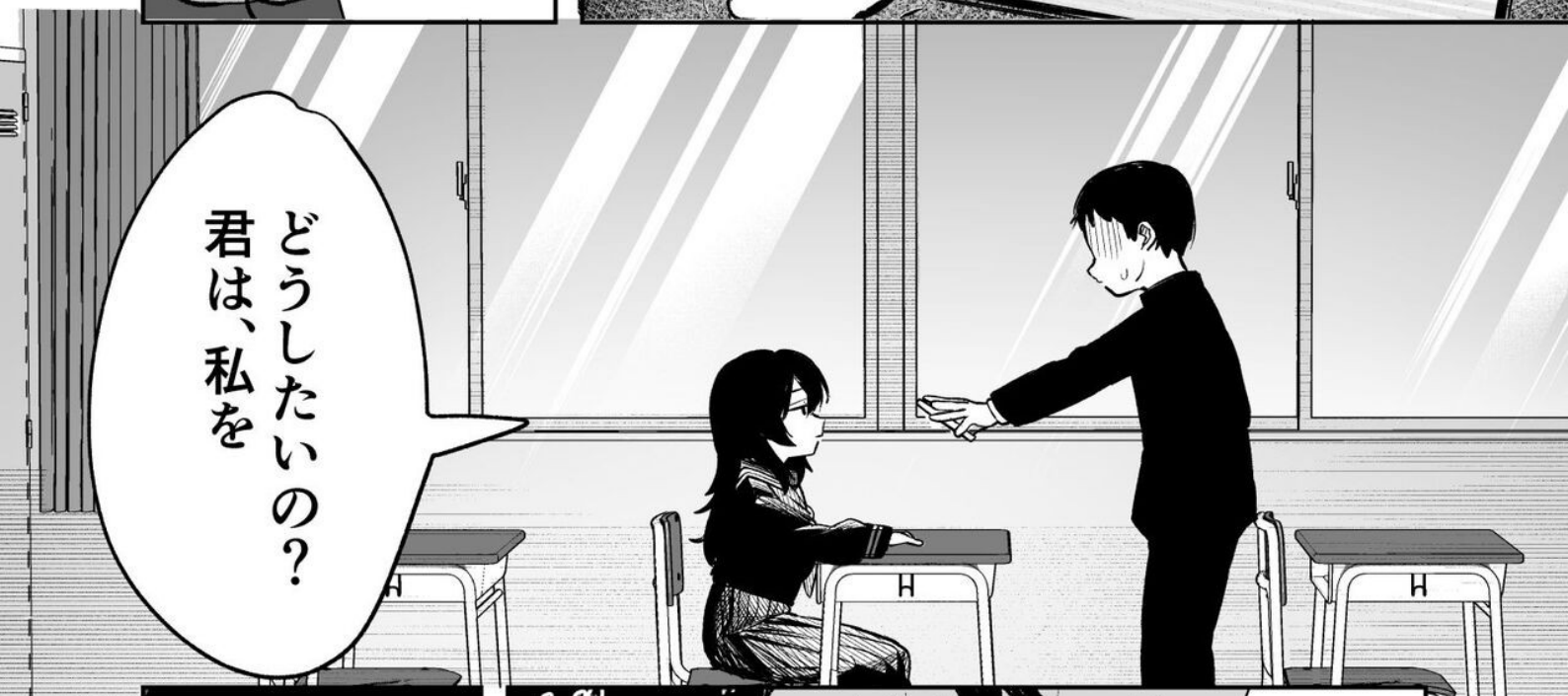
れろぉ……
じゅるるっ
じゅるるっ
じゅぽっ♥
ちゅぷ♥
ろろ♥
んぐっ
ぬるぅぅぅ……
うぉっ
じゅぽっ♥
おし
じゅぽっ♥
なんだ
ちゅぷ♥
ろろ♥
じゅるるっ
じゅるるっ
今日はえらく
積極的だな

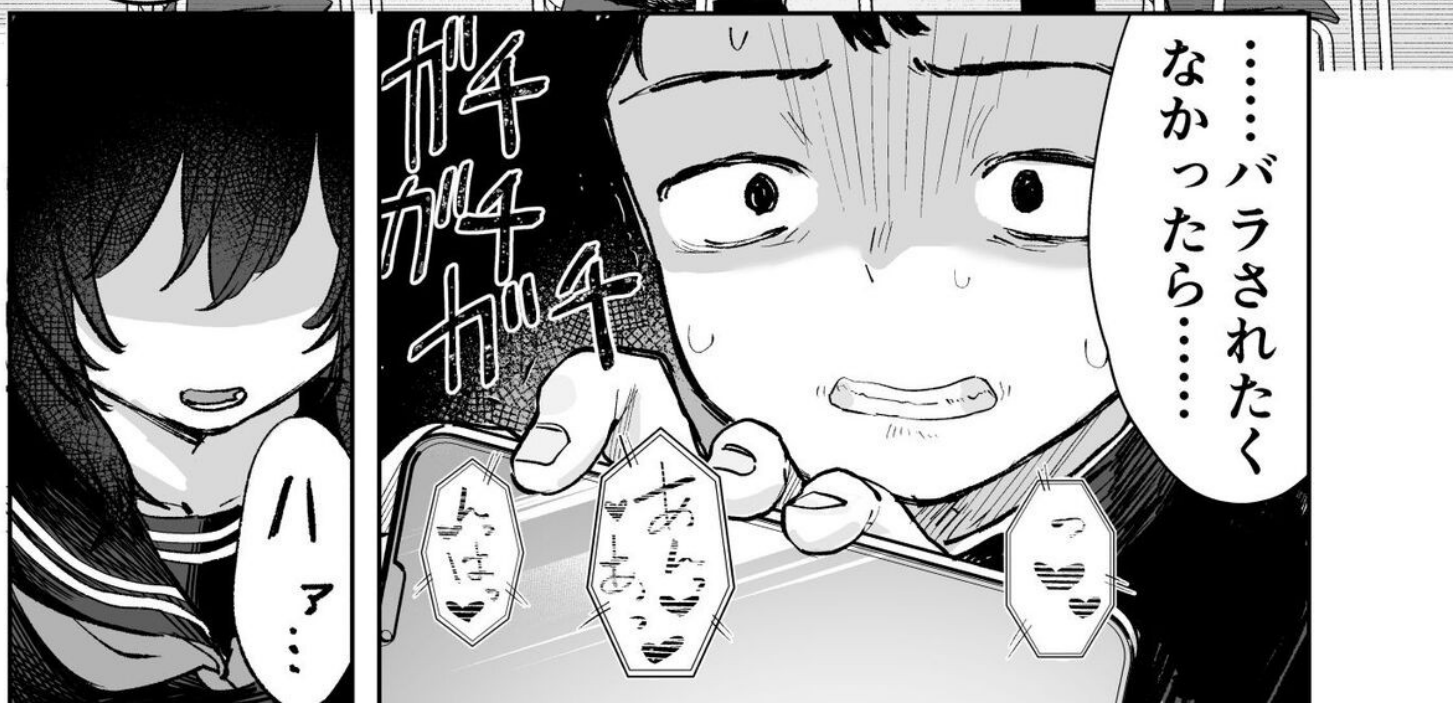
……先輩
ぐっ
ぐっ…
ぬちっ♡
ぬちっ♡
ぐっ
ああ？
私……
きゅん♡
ぬちっ
私は性的に
魅力が
ありますか？
先輩は
私で興奮
しますか？
あっ♡
はっ…
ぶるっ
ズッ
ズッ
パン
パン
パン
ごちゅっ♡
ごちゅっ♡

ズン
うっ♡
うっ♡
パン
パン
パン
……
あのな
こんな下品な
身体しといて
何言ってんだ
ぎっ♡
ガク
ぎゃ
いいから
腰うごかせ
大体な
好き好んで
エロくない女
抱くほど飢えて
ねえんだ俺は

あ？
なに嬉しそうな
顔してんだ
せんぱいっ♡
なんだしてっ
なのっ
ぱちゅっ
ぐぽっ
なんっ
ぱちゅっ
なのっ
なのっ
ぱちゅっ
ナカにっ♡
くださいっ♡
ぎゅ〜〜〜っ
あっ♡
ビクビク
ドプ
ドプ
どくん
ビクビクッ
あっ♡
あは♡
……マジ
わっかんねえ
女だなお前
チカ…
チカ…


ハァ…
ハァ…
先っぽ♥
パチュン
パチュン
もっと♥
……それで


どうしたいの？
君は、私を


……バラされたくなかったら……
ガチガチガチ
ハァ…

する……

ち……
違っ……
そういう
意味じゃ…っ
じゃあ何？

僕は
ただっ
先輩と
別れて
ほし……
嫌

それ、消してくれるなら一回だけさせてあげる
先輩に迷惑かけたくないから
スル…
……やるならはやくして

うっ…
ぐっ…
入っ…
……
グリ
グリ
ぎゅっ…
ぐっ…
っっ……
ぐり
ぐり
ご……
ごめん……
…心配するくらいならしなければいいのに

あ……っ
は……
入った…！
すごい……
気持ちいいよ
下條さん……っ
下條さん
……っ
そう……
下條
さんっ!!
……
君はさ
ゆっさ
ゆっさ
ズチッ
ズチッ
ズチッ
ゆっさ
ゆっさ
んっ

君は、私が好き
なんじゃなくて
よかったね
思い通りに
なって
同じレベルの女なら
ヤれるかもって
期待してただけ
でも先輩はね
いくらでも相手を
選べるのに
私を選んでくれた
私はそっちの
ほうがずっと
うれしい
ゆっ
ゆっ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ

出……ッ
ビュルッ
ドプ
ドプ
……
あーあ
中で出し
ちゃったんだ
……
気持ち
悪い
ギリ……

なんで……っ
なんでッ
なんで僕じゃ
ダメなんだよ
なんで
僕を……っ
愛して…っ

てめえ
俺の女に
なにして
くれてんだ
ゲホッ
ゴホッ

おい……
大丈夫か！
保健室……
いや先生
呼んで……
大丈夫
です……
騒ぎに……
しないで
ください
ゴホッ
ケホ

先輩にも
迷惑が……
進学にも
響くかも……
んなこと
言ったって
お前……
いいんです
それより
クイ
すりすり…
ぷるん
とぽぽ♡
トロォ
……抱いて
ください
今、
ここで
スススッ…

そいつに出された
気持ち悪い精液
ハァ…
ハァ…
ハァ…
先輩のので
塗りかえて
ください
ハァー…
ハァー…
ケホッ
ヒュー
ヒュー
くりくり
にぃ…
とろぉ
お願いです
先輩
忘れさせて

あぉっ♡
ズブッ
ぢゅ♡
ぢゅ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡

ぐぽっ
ズンズンズン
ぐぽっ
ひっ♥
びくっ♥
ずん
ごちゅっ
ごちゅっ
ごちゅっ
ごちゅっ
ずん
ずん
ずん
あっ♥
あ♥

ちゅ
ちゅっ
ちゅぱ♥
ちゅぱ♥
ちゅっ
ちゅ
ちゅぱ♥
パキッ
パチッ
パチュッ
パチュッ
ぴゅっ
ぎゅ

ぐぐぐぐ
はぁ
はぁ
はぁ
ビクッ
ビクッ
おッ
キュンキュン♡
とろぉ…
ズロロロ
おうっ♡♡
ビクッビクッ
ぐちゅ
ぐちゅ
ズロロロ
ヒュルルルル

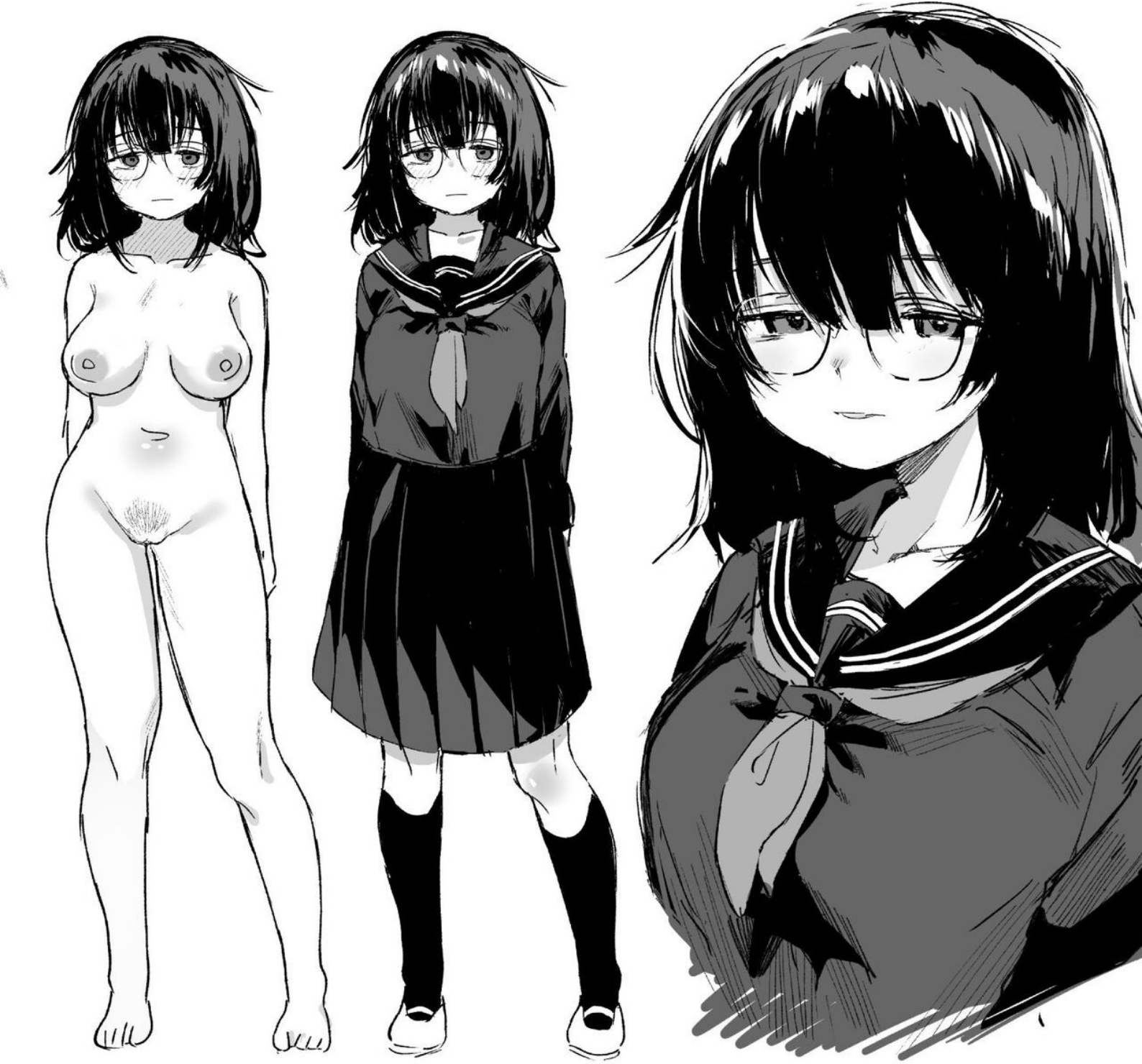
もうろうとする
意識の中で僕は
おおッ
ドク？
ドピュ
あはっ
ドクドク
ビクビクッ
二人の
交わりを
見ていた

……昨日のこと

誰かに
言ったら
一生恨むから

僕はその後
卒業まで
彼女とは
目をあわせる
ことさえ
できなかった

あの子は僕が好きじゃない
僕だけが気付いてたはずのロリ巨乳地味系文学少女
原作・なだソルト
作画・トリウチ



しもじょう しおり

下條 栞　142cm Hcup

県内中堅クラスの公立校に通う一年生。運動は苦手、成績は国語以外普通、いつも一人で本を読んでいる。幼い顔立ちと低い背丈とは裏腹に、肉感的な身体つきをしている。

容姿にコンプレックスがあり、自身を「スタイルが悪いさえない女」と自己評価している。控えめな態度はその反映。谷崎潤一郎の小説に出てくるような男を翻弄し支配する女にあこがれがあるが、自分は決してそのようには生きられないと諦めにも似た感情を抱えている。

自分をただの女として性的に求めてくれる男が好き。

性格がいいとか中身が大事とか言ってくる偽善者が嫌い。

あっ♡
パン
パン
はぁ
このチビッ
パン
パン
動きにくいだろが
あっ
すみませ……ッ
ドチュ
ズッ♡
ズッ♡
ドチュ
もっとケツ上げろ!!
あ…ッ
ばちゅっ
ズン
パン
パン
ビクッ
ビクッ
ガタッ
ガタッ

オラ
出すぞ!!
思いっきり
締めろっ
ぬぽっ
はぁ…
はぁっ
どろぉ…
たぷん♥
ぎゅん♥
どろっ
どろっ
ぬぷっ
ぬぷっ
ドピュ
ドピュ
ビュルルルル

ホラ、セックス終わったら何て言うんだ？
はぁ♡
はぁ…
はぁ♡
はぁっ
ガクッ
ガクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクン
ビクン
とろ～ぉ
つ、つかっていただいてありがとうございます……
先帰るからちゃんと片づけしとけよ
はー
はー
はー
フー…
フー…
フー…
はい……
ベちゃ
ドロォ…

放課後
二階のはずれの
空き教室
カラ…
カラ
下條さんは
いつも
そこにいる

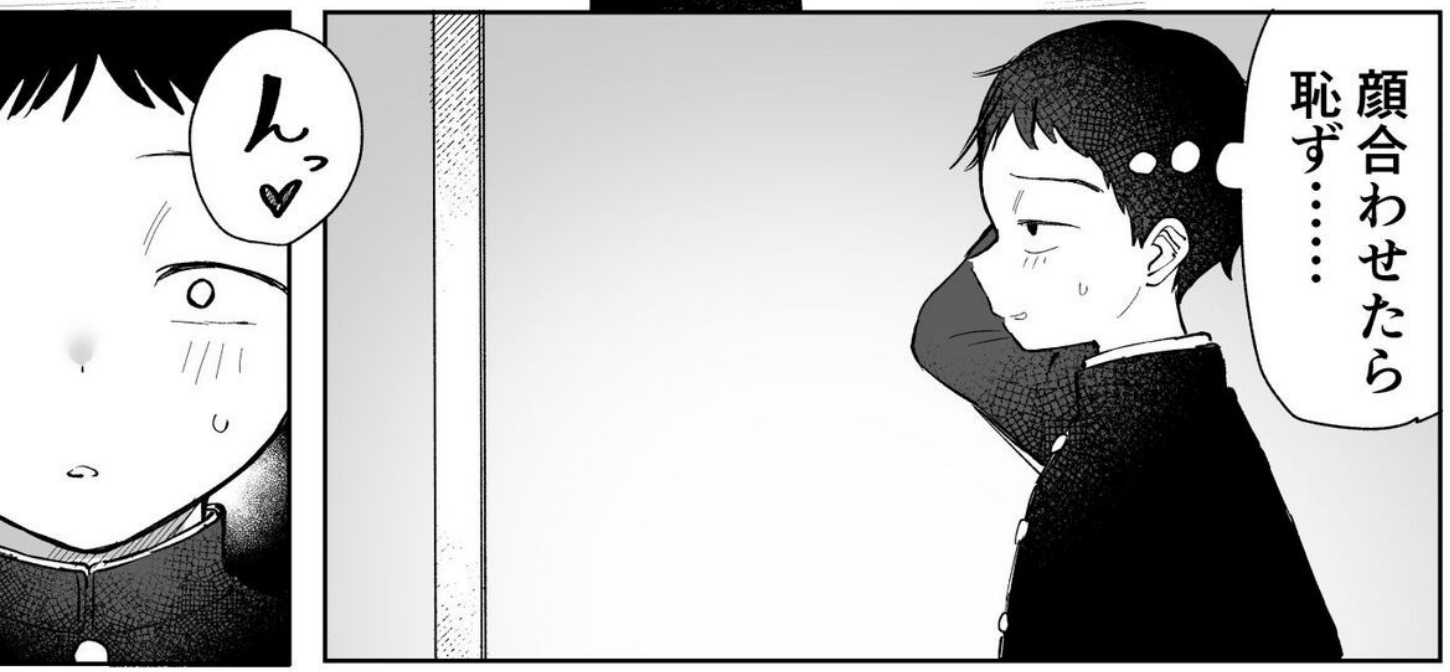
あ、読んだよ
借りてた本
……どう
だった？
ん～……
なんていうか
結構以外
だったかも
……
どのへんが？
その、わりと
エロい描写も
多くてさ
下條さんて
こういうのも
読むんだって
……そう

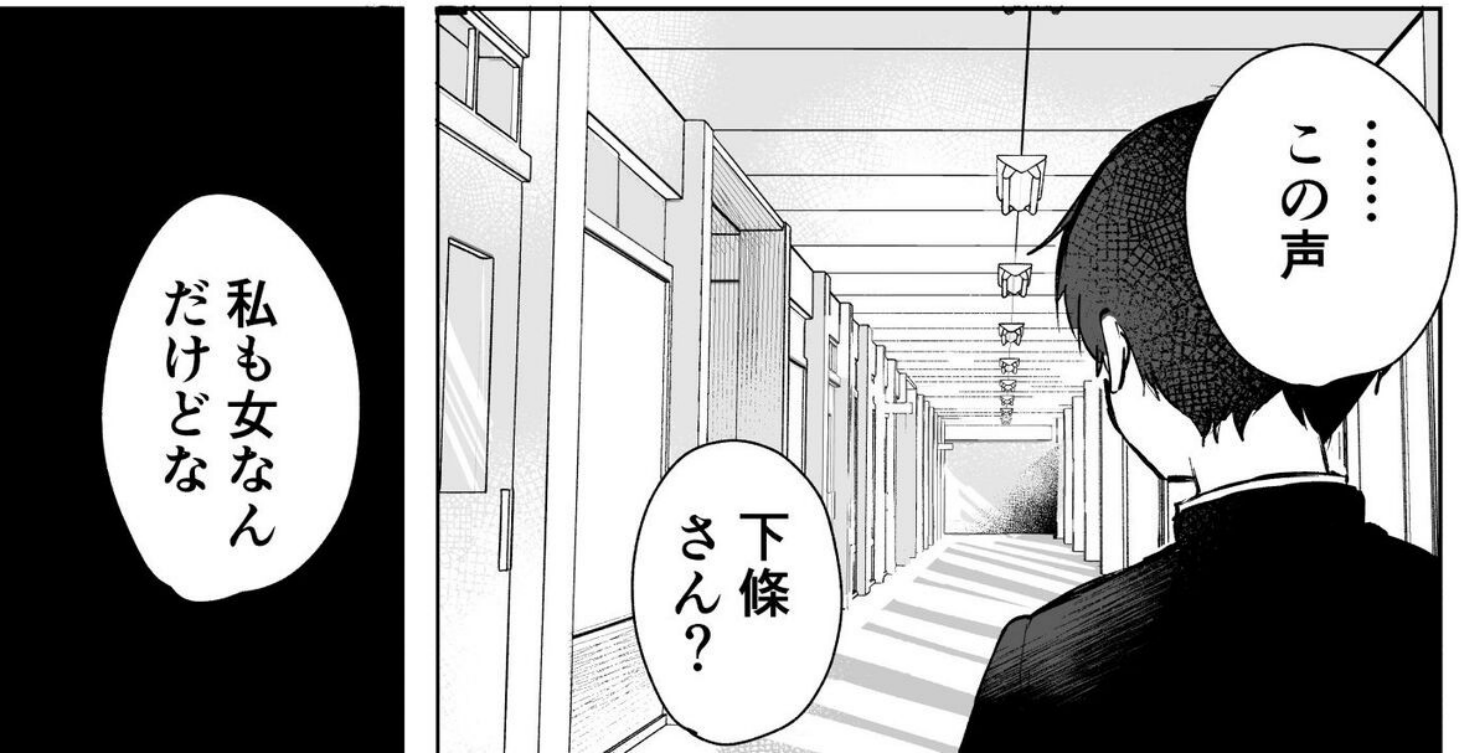
私も、
女なん
だけどな
僕は彼女が
気になってる

小柄で
大人しくて
決して目立つ
方じゃない
だけどたまに
ドキッとする
ことを言う
最近学校に
来るのが
楽しみだ
彼女がいつも
ここで待ってて
くれるから
この時間が
ずっと続けば
いいとさえ思う
キ
……っと、
塾行かなきゃ
カン
また明日、
下條さん
カラ
カラ
ピシャ

カラ
カラ…
ワー
ワー
パラ…
んっ♡
ぐちゅ♡♡

カバン忘れるとか
浮かれすぎだろ……
下條さんもう
いないよな？
カァー
カァー
コツ
コツ
コツ


顔合わせたら
恥ず……
んっ♡


……
この声
下條
さん？
私も女なん
だけどな

ハァ…
フー…
ハァ…
くち…
くち…
ハァ…
ハァ…
んっ♡
ぐり♡
ぐり♡
ぐちゅ
ぐちゅ
トロォ…
ぐちゅ

……見つかっちゃったね
幻滅した？
……でも見られたのが君でよかったかもねぇ……

君となら
……
いいよ

……
まさか、
ね……
そ
あっ
あっ
あっ♡
ア…ッ

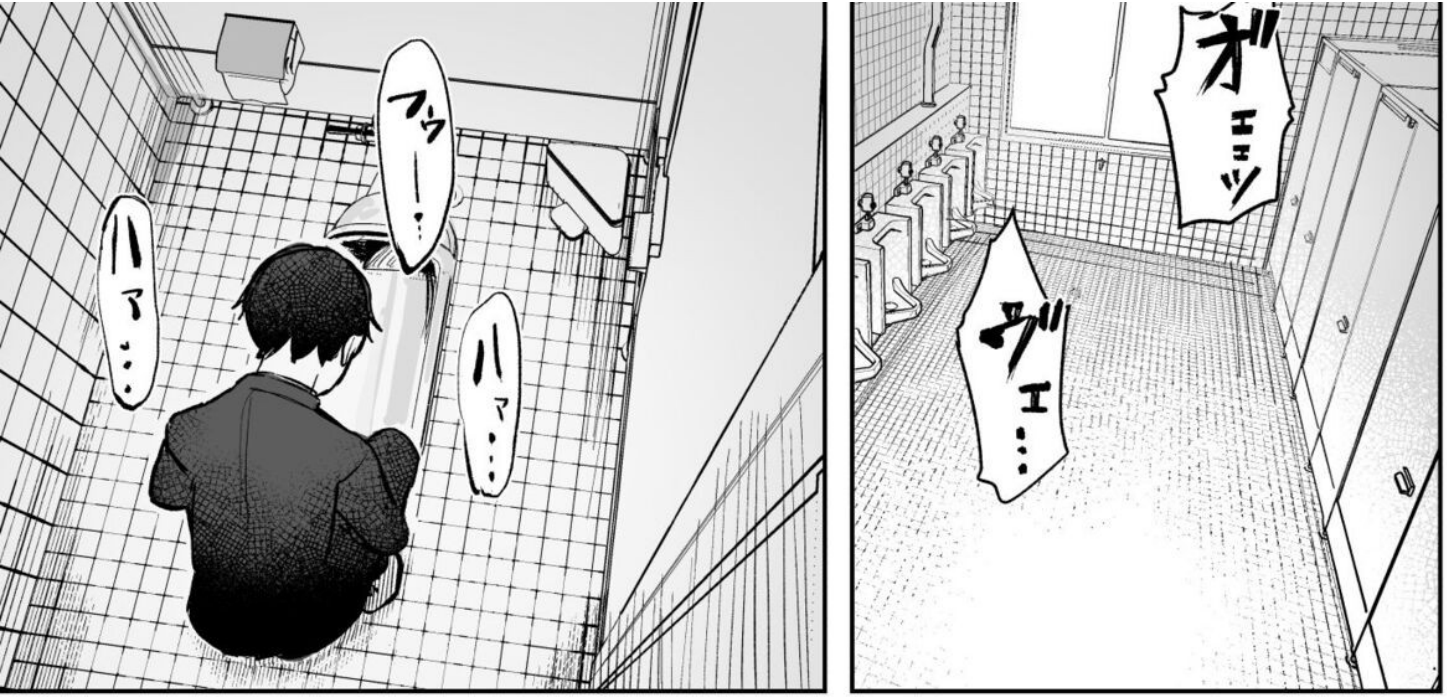
ハハッ
おもしれー
またイった
のかよ
あ゛ァ…!!
コリ
コリ
ぐりゅ
ぐりゅ
ぐりゅ

くちゅ♥
っ…♥
レロォ
くちゅ♥
んっ♥
フゥ…
フゥ…
コウ
っっ…
ゴッ
今日は中で出すからな
はい…
ありがとうございます
パン
パン
パン
パン
ドチュ
……おいおい締まりが良くなったぞ？マジで淫乱だなお前
キュンキュンキュンキュンキュンキュンキュンキュン

ははっ
脚つかねーのかよ
ガキとヤってるみて～ｗ
はぁ♡
は～っ♡
は～っ♡
ぬ
ぉ
あっ
ぉ
ぉ
ぉ♡
ぉっ
ぉんっ♡

ちょっと
まって
やめる
わけ
ねえだろ
殺すぞ
ああ!?
イき
死ねっ
出すぞッ

ヒクッ
ガク
ビクン
ビクン
ビクン


オエッ
グェ…
フゥー…
ハァ…
ハァ…

ぬぢゅ
ぬぢゅ
ぬぢゅ
ぱちゅっ
きっと……
無理矢理
相手させられ
てるんだ
脅されてる
とかで断れ
なくて……
クソっ
許せない
僕が……

僕が助けてあげなきゃ――
……見たんだ昨日、ここで
……そう
……評判悪いよあのひと
ねぇ、無理矢理やらされてるんでしょ？
だったら僕が力に……ッ
グッ…
いらない

……私がしたくてやってるの
じゃなきゃ毎日遅くまで先輩の帰りを待ったりしない
ガ・ママア
し……知ってるだろ!?先輩に他にも女がいるの
そんなの……都合よく使われてるだけじゃないか
僕は……僕はちゃんと中身を見てる！
僕ならもっと下條さんのこと大切に……
パータン

……私は
中身より身体を
求められたい
性格ばっかり
褒められたって
うれしくない
地味でブスで
スタイルも
悪いって
女として
魅力がないって
言われてるみたいで
……私、
いつもそう
言われてた
君も内心
そう思ってた
でしょ？
ち、違……
……別に
性格だって
こんなだし

…もう
関わら
ないで
じゅぼっ
ぴゃ
ぢゅぽっ
ちゅぷ

れろぉ……
じゅるるっ
じゅるるっ
じゅぽっ♥
ちゅぷ
ろろ♥
うぉっ
んぐっ
ぬるぅぅぅ……
じゅぽっ♥
おし
じゅぽっ♥
なんだ
ちゅぷ
ろろ♥
じゅるるっ
じゅるるっ
今日はえらく
積極的だな

……先輩
ぐっ
ぐっ…
ぬちっ♡
ぬちっ♡
ぐっ
ああ？
私……
きゅん♡
ぬちっ
私は性的に魅力がありますか？
先輩は私で興奮しますか？
あっ♡
はっ…
ぶるっ
ズッ
ズッ
パン
パン
パン
パン
ごちゅっ♡
ごちゅっ♡

ズン
うっ♡
うっ♡
パン
パン
パン
……
あのな
こんな下品な
身体しといて
何言ってんだ
ぎっ♡
ガク
ぎゃ
いいから
腰うごかせ
大体な
好き好んで
エロくない女
抱くほど飢えて
ねえんだ俺は

あ？
なに嬉しそうな
顔してんだ
せんぱいっ♡
なんだしてっ
なのっ
ぱちゅっ
ぐぽっ
なんっ
ぱちゅっ
なのっ
なのっ
ぱちゅっ
ナカにっ♡
くださいっ♡
ぎゅ〜〜〜っ
あっ♡
ビクビク
ドプ
ドプ
どくん
ビクビク
あっ♡
あは♡
……マジ
わっかんねえ
女だなお前
千カ…
千カ…

ハァ…
ハァ…
先っぽ♥
パチュン
パチュン
もっと♥
……それで
どうしたいの？
君は、私を
……バラされたくなかったら……
ガチガチ
ハァ…

する……

ち……
違っ……
そういう
意味じゃ…っ
じゃあ何？

僕は
ただっ
先輩と
別れて
ほし……
嫌

それ、消してくれるなら一回だけさせてあげる
先輩に迷惑かけたくないから
スル…
……やるならはやくして

うっ…
ぐっ…
入っ…
……
グリ
グリ
ぐっ…っ
ぎゅっ…
ぐり
ぐり
っっ……
ご……
ごめん……
…心配するくらいならしなければいいのに

あ……っ
は……
入った…！
すごい……
気持ちいいよ
下條さん……っ
下條さん
……っ
そう……
下條
さんっ!!
……
君はさ
ゆっさ
ゆっさ
ズチッ
ズチッ
ズチッ
ゆっさ
ゆっさ
んっ

君は、私が好き
なんじゃなくて
同じレベルの女なら
ヤれるかもって
期待してただけ
ゆっさ
ゆっさ
よかったね
思い通りに
なって
ぬちゃ
ぬちゅ
ぬちゃ
ぬち
でも先輩はね
いくらでも相手を
選べるのに
私を選んでくれた
私はそっちの
ほうがずっと
うれしい

出……ッ
ビュルッ
ドプ
ドプ
……
あーあ
中で出し
ちゃったんだ
……
気持ち
悪い
ギリ……

なんで……っ
なんでッ
なんで僕じゃ
ダメなんだよ
なんで
僕を……っ
愛して…っ

てめえ
俺の女に
なにして
くれてんだ
ゲホッ
ゴホッ

おい……
大丈夫か！
保健室……
いや先生
呼んで……
大丈夫
です……
騒ぎに……
しないで
ください
ゴホッ
ケホ

先輩にも
迷惑が……
進学にも
響くかも……
んなこと
言ったって
お前……
いいんです
それより
クイ
すりすり…
スス…
……抱いて
ください
今、
ここで
とぽぽ♡
トロォ

そいつに出された
気持ち悪い精液
先輩ので
塗りかえて
ください
ハァ…
ハァ…
ハァ…
ハァ…
ハァ…
ケホッ
ヒュー
ヒュー
ぐにぃ…
とろぉ
お願いです
先輩
忘れさせて

あぉっ♡
ズブッ
ぢゅ♡
ぢゅ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡

ぐぽっ
ズンズンズン
ぐぽっ
ひっ♥
びくっ♥
ずん
ごちゅっ
ごちゅっ
ごちゅっ
ごちゅっ
ずん
ずん
ずん
あっ♥
あ♥
ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅっ

ちゅ
ちゅっ
ちゅぱ♥
ちゅぱ♥
ちゅっ
ちゅ
ちゅぱ♥
パチュッ
パチュッ
パチュッ
パチュッ
ぴゅっ
ぎゅ

ぐぐぐぐ
はぁ
はぁ
はぁ
ビクッ
ビクッ
おッ
キュンキュン♡
とろぉ…
ズロロロ
おうっ♡♡
ビクッビクッ
ぐちゅ
ぐちゅ
ズロロロ
ヒュルルルル

もうろうとする
意識の中で僕は
おおッ
ドク？
ドピュ
あはっ
ドクドク
ビクビクッ
二人の
交わりを
見ていた

……
昨日の
こと

誰かに
言ったら
一生恨むから

僕はその後
卒業まで
彼女とは
目をあわせる
ことさえ
できなかった

トリソルトの原作担当。
ロリババアになりたい。

なだソルト

トリソルトの作画担当。
金髪ロリ吸血鬼になりたい。

トリウチ

それじゃあ、あとがきにかえて
とりあえずはここまで読んでいただいてありがとうだね

とりあえず
めちゃくちゃ遅くなってすいませんでした！！！

そういえば作品の中身についてなんですが
主人公君結構可哀そうな目にあってる風になってますけど
ヒロイン目線はただただキモイやつに勝手に好意持たれてしかも脅されて身体貸したら
中出しされるし首絞められるしで印象最悪すぎるんですよね

悪意はなくても思春期特有の視野の狭さが他人にとっては害になることもあるというか
周り見えてなかった高校生くらいで童貞の頃の僕を自己嫌悪しながら描きました。
みんなに共感してもらえるといいな

次回作はミッドサマーみたいな作品作ろうな

この路線が受けたらそうなるかもね

草ァ！！！！！！

トリウチくんは次何描きたいとかある？

可愛いロリが描きたい！！
今回のはすごい難しかったですよ本当に
可愛すぎないようにしなきゃ……って思いながら描いてたので
前に某メイド●ン●ビスの作者のつ●しさんが
幼い子が出ない作品を描いてたら身体壊したって言っててそん時は笑ってたんですけど
可愛く描くぞ～～！ってできないロリをずっと描いてると苦しいターンみたいなのは
ありましたね……

下條さんもかわいいと思うんだけどな

世間一般との可愛いの概念が違うやつだよそれ

じゃあ次はストレートに美少女出そうね、クソみたいな性格の

それは普通にうれしい、最悪な美少女が一番好き

そういう作品、年末までに一作作れるといいなぁ

作る　作るぞ！！！！！！

がんばろう、俺たちも生活しなくちゃならんしな…売れるといいね、切実に…

本当にね……本当に……そこだけがひたすら不安だよ……

読者のみんな、信じてるからな…じゃぁまぁ、この辺でお開きということで

本当にありがとうございました！！！！

次回作もよろしく！！！